

ては、御同様充分に氣をつけて、飽くまで本工場の信用を高めることに努めなければならぬと考へます。

二、會社の施設

本社は、今日まで及ばすながら經濟の許す限り、諸君の待遇に就て考へ、住宅が足りないと思つては家を建て増し、米が高くなると廉賣をやり、利益のあつた場合にはそれを分配する意味で皆さんに年二回の賞與金を出して居ります、尙その外、永年勤めた人たちを慰めるために、年を取つた爲め又は止むを得ない事情で職を退かれる際には、養老金を差上げる制度をつくり、不便な土地で娛樂設備のないのをお氣の毒に思つて、共樂館を建てたことなどは、もはや諸君の御存じの事であり、この頃、米その他日用品の値段が一向下らないばかりか却て高くなる傾きが見えますので、どうかして、少しでも安い物が皆さんの手に入る様にしたいと考へ、昨今職工係の方で

それ／＼原産地へかけ合つて原價や、仕入方や、運賃等詳しい調べをやつて居ります、いづれ近い内に諸君の中から委員を出して貰つて、とくと御相談をして日用品を安く買へる様にする積りて居ります。

三、要求條件に對する處置

1 犠牲者を出さざること

凡そ工場を經營する場合には、どんな人がその衝に當りましても、第一に秩序を保つことが必要であります、最近、諸君が委員を選んで堂々と意見を陳べられたのも、多分同様のお考からであらうと思ひます、ですから、諸君を代表して會社幹部に應接された人たちに對しては、その立場に對して同情こそすれ、それを不都合と認めて解職すると云ふ様な考は毛頭持つて居らないのであります、しかし、茲に充分諒解を得て置きたいのは、若し、惡意を以て會社工場内の秩序をみだしたり、不穩當なことを